

# 対話でつなく授業 ～自己肯定感を高めて～

岩瀬 竜弥



指導員訪問⑦ 6年 外国語科

「Unit 7 My Best Memory」 野口 慎史 教諭



「英語の勉強が好き」74.3% (学力調査R3) と答える6年生です。2020年4月より小学校で教科としての外国語が導入され2年目。ALTとの打ち合わせ、担任による授業スタイルもようやく形になってきました。野口教諭は、小学校生活の思い出を話すための表現を理解するだけでなく、伝え合う(やり取り)ことに重点を置きました。ジェスチャーや既習表現を駆使して、どうすれば自分の考えや気持ちを伝え合うことができるか、工夫する姿があったかどうかです。

野口教諭は、カナダやドイツなどへの訪問では、常識や知識が通用せず試行錯誤した体験をしました。この衝撃から、今の子供たちが生き抜く力になる、と確信。卒業を控えた6年生。分からない時こそ想像して、「どうにかしよう」と考え、判断して突破する力を・・・と日々奮闘中です。

さて、本時では基本の構文、①What is your best memory?、②My best memory is ～を確認。つぎに、T1 (担任)、T2 (ALT) とのデモIを見せました。そこでは、基本的な受け答え5つ (go, see, eat, buy, play) を紹介。その後、グループになって一番の思い出を互いに紹介しました。



そこでは、**場面1**のようにC8が「そうじゃないよ」とつぶやいたり、他の

グループから「使えないも文もある！」と。そして、5つから選択した**場面(デモII)**を見せました。

協議会では、詳しく聞くためにどんな手だてが必要か議論も活発に。指導員から、デモを止めて「みんなならどんな質問をする？」と代案を。私は、●立ち止まった後のCウに着目。

「3つ以上でも」とはどういう意味でしょうか？「みんなも同じ？」と切り返せば、「もう十分」「いや、もっと聞きたいよ」と来るかも。C9がDo you like rice?と聞き直すでしょうね。



## <授業記録より一部抜粋、編集>

### 場面1 <あるグループで>

- C1: What is your best memory?
- C2: My best memory is school trip  
- <略> -
- C7: What did you eat?
- C8: I ate gohann (ごはん)。
- C9: な～んだ、ライスが好きなんだ!

### 場面2 <デモストレーションIIの場面で>

※T1とT2がジャンケン→勝者、敗者を決めて

- ① T2: What is your best memory?  
T1: My best memory is our volleyball club  
- <略> -
- ④ T2: What did you eat?  
T1: I eat rice ball.

### ※交代 T1⇔T2

- ① T1: What is your best memory?  
T2: My best memory is our school soccer tournament.  
- <略> -

- ③ T1: What did you buy?

T2: I bought souvenir.

- T1: 今の質問、ALTは? Cア(多数): 4つ!
- T1: 次は? Cイ: 3つ。T1: ●3つめは選んで。
- Cウ: 3つ以上でもいいですか?